

日本心理学会 第75回大会（於 日本大学）
ワークショップ
宗教心理学的研究の展開(9)
—仏教(仏教徒)と宗教心理学—

寺院従事者の役割受容感の 規定要因を探る

—浄土真宗本願寺派寺院への量的調査から—

大阪大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程1年
横井 桃子

研究の目的

寺院の活動

○活動の種類はさまざま

法要、清掃、荘厳、布教・教化、社会的活動etc...

○担い手もさまざま

寺院の住職だけが従事するわけではない

「家族の理解と協力の重要性」

住職と配偶者による寺院での活動が軸

寺院で働く人の意識とは？

坊守(ぼうもり)とは何か？

- ・ 浄土真宗寺院における住職の配偶者の呼称
- ・ 住職を補佐し、教化の任にあたる

(本願寺派寺族規程第4条)

ちなみに 住職 とは…

- ・ 寺院を管掌する僧侶
- ・ 寺務を主宰し、教義の宣布、
法要儀式の執行及び門徒の教化育成に努め、
所属する僧侶及び寺族の教導にあたる

(本願寺派宗法第16条)

これまでの坊守・仏教女性の研究

<p>真宗学 宗教学</p>	<p>歴史上の仏教指導者の 女性の往生の理解 (菱木1991；尾畑1991； 平1990；栗原1991)</p>	<p>指導者の著作から検討 ×女性の意識は見えてこない</p>
<p>歴史学</p>	<p>坊守の地位の変遷 (遠藤1998；松尾2000)</p>	<p>×一般寺院の坊守の研究があ まりない</p>
	<p>中世女性の仏教理解 (西口2006)</p>	<p>女性の手紙から検討 ○当時の女性の意識の理解</p>
<p>宗勢調査</p>	<p>本願寺派宗勢基本調査 (窪田2006)</p>	<p>○現代の仏教女性・坊守の意 識を把握 ×データが使いきれていない</p>

⇒現在における住職と坊守の寺院活動や
意識との関係を明らかにしていく必要性

今回明らかにしたいこと

住職と坊守の寺院活動への従事はどうなっているのか
従事のパターンによって役割意識が異なるのか



社会心理学的な枠組み

+

計量手法

・・・ → 役割意識研究、寺院活動の研究への寄与

方法

調査対象

浄土真宗本願寺派の一般寺院 410寺院（約4%）

比例割当による層化抽出法 郵送調査

⇒ 回答数 124寺院（回答率：30.24%）

...住職121名、坊守103名

調査期間 2010年6月1日—8月6日

調査内容

寺院活動項目尺度	寺院での活動にどの程度従事しているか。15項目。
役割受容尺度	自身の果たすべき役割についての外面的な側面の認識や肯定的評価。27項目。(三川1990)
平等主義的性役割態度尺度	性役割や男女平等に対する態度の方向性。15項目。(鈴木1991)

結果

○住職と坊守の従事パターンの類型

寺院活動の従事量=従事のパターンを探る

寺院活動項目 15項目・5件法

「あなたは次の活動にどの程度従事していますか。」

階層的クラスタ分析

(Ward法・平方ユークリッド距離)

個々のデータ(個体)をいくつかのまとまりに分類(クラスタリング)する分析手法。

⇒ 住職・坊守それぞれ3クラスターずつ抽出

・住職の従事パターンの各類型の平均値

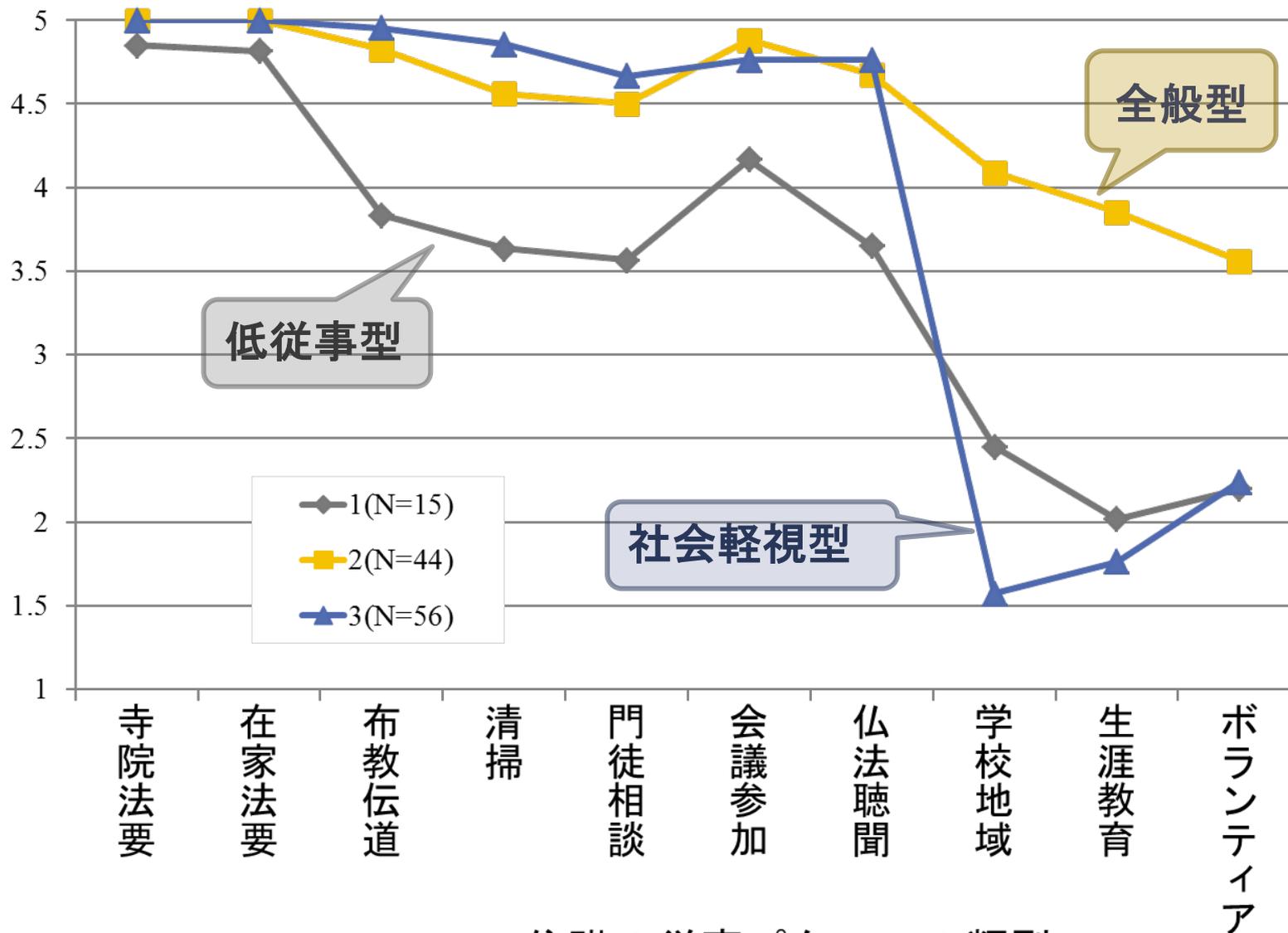


Figure1 住職の従事パターンの類型

坊守の従事パターンの各類型の平均値

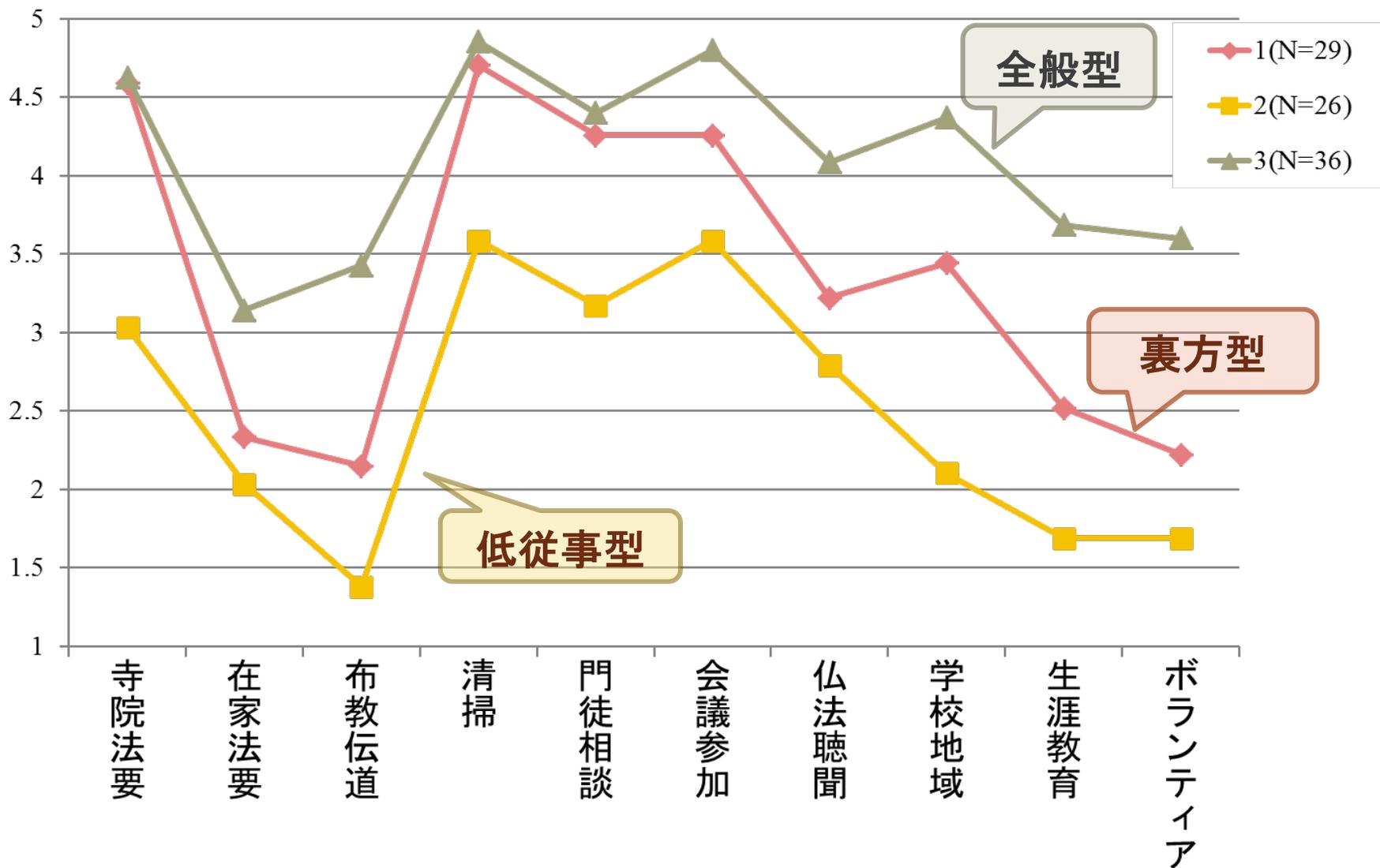


Figure2 坊守の従事パターンの類型

結果のまとめ

住職の従事パターン類型

- **全般型**：主たる寺院活動にも社会活動にもおおむね従事
- **寺院重視－社会軽視型**：寺院活動に重きを置き、どちらかと言えば地域や社会活動には従事しない
- **低従事型**：どの活動にも相対的にあまり従事しない

坊守の従事パターン類型

- **裏方型**：運営・管理など寺院活動の私的側面への従事が多い
- **全般型**：寺院活動にも社会活動にも従事
- **低従事型**：どの活動にも相対的にあまり従事しない

○従事パターンが役割受容意識に与える影響

寺院従事者の役割受容感に何が影響を及ぼしているのか？

重回帰分析

他の独立変数の効果を統制した時の、ある独立変数 X_j の Y に対する影響力・規定力を解明する。

独立変数

社会的属性：年齢、兼職の有無(ダミー変数)

性役割態度・・・得点が高いほど平等志向

従事パターン類型(ダミー変数)

従属変数

役割受容感因子得点

・ 住職の役割受容感の規定要因

Table1 住職の役割受容感の規定要因

	<i>r</i>	<i>b</i>	<i>SE</i>	β
切片		37.378**	6.980	
年齢	.390**	.317**	.076	.413
兼職ダミー	.053	3.017	2.027	.145
性役割態度	-.117	-1.683	1.439	-.113
全般型ダミー	.227*	.836	3.054	.041
社会軽視型ダミー	-.229*	-4.166	2.913	-.208
低従事型ダミー(ref.)	.013	—	—	—
調整済み決定係数		.195**		
N		93		

* $p < .05$, ** $p < .01$

・ 坊守の役割受容感の規定要因

Table2 坊守の役割受容感の規定要因

	<i>r</i>	<i>b</i>	<i>SE</i>	β
切片		13.419	8.144	
年齢	.162	.236*	.094	<u>.261</u>
兼職ダミー	.073	-.429	2.600	-.018
性役割態度	.345**	5.062**	1.578	<u>.328</u>
裏方型ダミー	.076	6.238*	2.437	<u>.304</u>
全般型ダミー	.236*	8.447**	2.658	<u>.404</u>
低従事型ダミー(ref.)	-.314*	—	—	—
調整済み決定係数		.222**		
N		77		

* p<.05, ** p<.01

結果

住職の役割受容感

- ・ 住職の年齢が高まるとともに、自身の役割への受容感が高まる。

坊守の役割受容感

- ・ 坊守の年齢が高まるほど、また性別役割態度が平等志向であるほど、役割への受容感が高まる。
- ・ さらに、低従事型の坊守と比べ、裏方に従事する坊守や全般的に従事する坊守の方が役割への受容感が高まる。

住職の性別役割態度や従事パターンは役割受容感に影響しないが、

坊守は態度や従事パターンによって役割受容感が異なる

まとめ

○住職の従事パターン **全般・社会軽視・低従事** と
坊守の従事パターン **全般・裏方・低従事** の違い

○役割受容感の規定要因

住職：年齢のみ

坊守：年齢、性役割態度、従事パターン

今後の課題

- ・ 従事パターンを分けている要因の解明
- ・ 住職の役割受容感の規定する他の要因の追究
- ・ 住職と坊守の1組として、対人認知の観点からの分析
- ・ 他の職業との比較（会社員、自営業、専業主婦 etc...）
- ・ 坊守の性役割態度と寺院での働きかたを教団で見直す

文献

- 遠藤一, 望月慶子 (1998). 「坊守」論の現在—歴史に見る「坊守」の地位と役割— 久留米工業高等専門学校紀要, 13(2), 33-37
- 菱木政晴 (1991). 仏教の性差別—大無量寿經三十五願のフェミニズムからの解釈— 日本仏教学会「年報」, 56, 127-140
- 窪田和美 (2006). 真宗寺院における住職と坊守の役割—第8回宗勢基本調査からみる坊守の多面的活動— 龍谷大学論集, 468, 118-146
- 栗原広海 (1991). 親鸞の女性観—著作にみる女性の往生・成仏の問題— 日本仏教学会「年報」, 56, 59-78
- 松尾一 (2000). 真宗の一般性とフェミニズム・ジェンダー—「坊守」論を素材として— 久留米工業高等専門学校紀要, 15(2), 23-27
- 三川俊樹 (1990). ライフ・キャリアの視点からみた役割受容 進路指導研究, 11, 10-17
- 西口順子 (2006). 中世の女性と仏教 法蔵館
- 尾畑文正 (1991). 真宗と性差別 日本仏教学会「年報」, 56, 141-152
- 鈴木淳子 (1994). 平等主義的性役割態度スケール短縮版 (SESRA-S) の作成 心理学研究, 65(1), 34-41
- 平雅行 (1990). 中世仏教と女性 女性史総合研究会(編) 日本女性生活史第2巻「中世」 東京大学出版会, pp.75-108

ご清聴、ありがとうございました。